

製本業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	工場内で断裁作業中、手と品物が滑り、指を潰し、左手の中指と薬指を骨折した。	37	10~29
3	18~19	3Fバインダー2号機の搬送コンベアの駆動部で、動作不良を起こしておりタイミングベルトのカバーを外し調整作業をしている最中に、タイミングベルトに左手人差し指を巻き込まれ、指先を切断した。	41	50~99
4	11~12	会社建物2階工場内にて、全自動ランプ断裁打抜機の操作中、加工時に発生する紙くずを除去しようとした際に、モーターに直結するベルト部分に指を巻き込まれ、右人差し指・中指の第2関節付近を切断した。	32	10~29
6	8~9	工場内で、アップダウン式の半自動箔押機を使用して、製本用表紙に箔押加工の作業中に、電話に出る為に立ち上がろうとした時に、電源スイッチをOFFにしない状態のまま、誤って左手をついて立ち上がってしまい、上下運動の間に挟まれ、左指を負傷した。	31	10~29
7	16~17	当社工場で、裁断くず搬送機のベルトにからみついたくずを取り除く際、機械を完全に停止させず、寸動で動かしながら、右手を機械の中に入れたため、引き込まれ、骨折した。	63	1~9
9	7~8	工場2階において、3号機の製本前の準備中、自動結束機に当て板をセットする際（高さ約40cm）、真後ろの通路を背にしゃがんで正座する形で右足首を45度後方にある鉄柱の外側（通路側）に出して作業をしていたところ、印刷物を積んだ電動ハンドリングがバックで通りかかり、右足首を鉄柱と積荷にはさまれ骨折した。	24	—

12	0~1	<p>社内の無線製本機を運転中に、スリッターの刃のspringsが外れているのを発見した。その際、本来は機械を止めて修理するところを、製造スケジュールが非常にタイトで精神的に追い込まれていたため、運転しながら修理しようとした。あまりに危険なために諦めて手を抜く際、誤って手前のスリッターの刃に巻き込まれた。</p>	10 57 ~ 29
----	-----	---	---------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html